



令和6年度 湧水町立幸田小学校 学校便り

幸田っこ 6月号

棚田の田植え体験プロジェクト

子どもたちに残したいもの～地域とともに～

校長 溝上 秀人

6月の土曜授業では、役場産業振興課の皆様にご準備をいただき、当日は地域おこし協力隊の方々にも協力を頂いて田植え体験をしました。この活動を通して低学年の児童は楽しかったと瞳を輝かせて話をしたり、高学年の児童は1年生と2年生に植え方を教えられてよかったと日記に書いたりしていました。

新百選つなぐ棚田遺産の「幸田の棚田群」で体験プロジェクトを経験できることはとても価値あることだと思います。学校としては田植えや稲刈りだけでなく、国語の授業で俳句や短歌の作品づくりに生かしたり、理科の学習で田に住む生き物に目を向けたり、社会科では観光の面から棚田について考えたりするなど、学習に役立てて本校の特色として、この活動を今後活用していきたいです。

さて、子どもたちに残したいという視点で、歓迎会や懇親会で地域の方や保護者と「これからの幸田」について語るときはワクワクします。「今、学校にいる子どもたちに何を体験させるのか、何を伝えたいのか。」「卒業した子どもたちが幸田に帰ってきたいと思える地域にするにはどうすればよいか」などなど、お酒も入っていることもあり、とてもよい意見が飛び出します。私は、この意見や想いを少しずつでも実現しながら「これからの幸田」を一緒に作り上げられたらと考えています。

本校校歌に、「ほたるとびかう幸田川」とあるように、地元の方は「昔はホタルがわいていた」「家の中までホタルが入ってきましたよ」と表現されるぐらいたくさんのホタルがいたそうです。現在は、河川を中心とした環境の変化



でホタルは少ししか見られないとのこと。しかし、地域には以前のようにホタルが飛び交う幸田川にできないかと研究し、取り組まれている地域の方々もいらっしゃいます。この他にも、地域に住む子どもから大人まで参加できる、楽しいイベントをやりたいという方もいらっしゃいます。また、幸田地区では、棚田ウォークの開催も決定したと聞いています。地域のたくさんの方々楽しく参加していただき元気な幸田にしたいという思いを館長からうかがっています。8月には山村キャンプも計画されています。皆さんの思いを感じながら、子どもたちに多くのことを残していきたいものです。

乗馬って気持ちいい



5月15日・16日に霧島自然ふれあいセンター3校合同宿泊学習がありました。オリエンテーリングや乗馬体験や塗り箸づくりや灯の集いなど、様々な体験活動を行いました。他校の友達も増えて、集団で生活する楽しさを感じているようでした。

今年は何キロとれるかな

6月8日の田植えでは、子どもたちも先生たちも田んぼに入ると足元がふらふらしていました。「苗を植えるときは力を入れないといけなかったのが難しかった」と日記に書いている子がいました。昔は全部の田んぼを手植えしていたことを聞くとびっくりしている子もいました。



7月行事予定

- 4日(木)校内水泳学習発表会
学級PTA・全体PTA
- 11日(木)幸田塾
- 13日(土)土曜授業
- 19日(金)終業式
- 23日(火)町小学校水泳記録会
- 25日(木)PTAプール開放1日目・教育相談
- 26日(金)PTAプール開放2日目・教育相談
- 29日(月)PTAプール開放3日目・教育相談

じゃがいも掘りをしたよ

民生委員・児童委員の西さんにご提案いただいて、西さんの畑で1・2年生が、じゃがいも掘りに挑戦しました。畑からは大きなじゃがいもがゴロゴロ出てきます。子どもたちは大喜びで掘っていました。

持ち帰り用と使用後の軍手入れ用の袋や飲み物、お菓子など至れり尽くせりで子どもたちを楽しませてくれた西さんに感謝です。ありがとうございました。

こころ・からだ・いのちのまつり

こども思春期サポート「ほっと feelings」から森先生をお迎えしました。子どもたちは、栄養が体の成長に深く関わっていることを学びました。好き嫌いせず、適切な量をしっかりと食べて健康な体づくりに努めてほしいと思います。

